

朝夕ようやく涼しくなり過ごしやすい気候になってきましたが、皆様には益々御清祥のこととおよろこび申し上げます。店頭にもさまざまな秋の味覚が並び始めておりますが、22年産米が新米の出荷を前に品薄と報道されました。震災後もそうでしたが不安感から過剰在庫する人がいるようです。米に限ったことではありませんが、不確かな情報に煽られることなく冷静な対応をとりたいものです。

## 第52回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

8月18日(木)・19日(金)の2日間、高知県高知市で開催されました。

全国から約800名が参加し、青森県からは当給食会からの派遣者を含む10名が参加しました。1日目はよさこい囃子踊りによる歓迎アトラクションで開会式が始まり、その後全体会が行われました。全体会では午前に関東学院大学 文部科学省スポーツ・青少年局 布村 幸彦 局長からの説明が行われ、続いて前全日本女子バレーボールチーム監督でありアスリートネットワーク理事長 柳本 昌一 氏による「トップアスリートの育成と食」の特別講演が行われました。



世界で戦うことの厳しさとトップアスリートを支える食の重要性について、これまでの様々な経験を踏まえた内容でした。午後は、高知県教育委員会事務局スポーツ健康教育課 徳広 千恵 チーフと高知県宿毛市立宿毛小学校 土居 宜加 栄養教諭による「地場産物を取り入れた学校給食を活用した食育の推進」の実践発表の後、「活力ある



社会を作る為に～栄養教諭に期待される役割～」のシンポジウムが行われました。他職種との連携といった、栄養士に今後期待される役割の重要性について話し合われました。

2日目は9分科会に分かれて研究協議が行われました。

## お知らせ

写真は同型の測定器で試験的に計測しているところです。

当給食会では、原発事故による食品の放射能汚染への対応として、9月より物資入庫時の放射線簡易測定を開始いたします。入庫する食品の表面汚染を計測する機器を使用するため、食品中の放射性物質の種類や量については測定できませんが、多量の放射性物質がある場合は検知することができます。測定器は9月中旬ごろに入荷予定です。



また、青森県のホームページでは農林水産物の測定結果が公表されております。9月1日現在で放射性ヨウ素 131 及び放射性セシウム 137・134 とも検出されていないとのことです。詳しい内容は青森県のホームページを御確認ください。

## 物資細菌検査結果について

8月に入庫された物資の細菌検査結果は、一般生菌・大腸菌群および大腸菌・黄色ブドウ球菌について検査したところ、いずれも問題ありませんでした。なお、検査した製品は次の12品です。

紅鮭フライ(骨無し)	青森県産白桃のジュレ	ナス乱切り(素揚げ)	さば黒酢あんかけ
レバー入りチキンメンチカツ	中華くらげ	トッピングいそわかめ	たくあん千切り
えびボール	緑の野菜のかぼちゃコロッケ	いわし紀州煮	マーラーカオ